

吸着工学 (Adsorption Technology)		5年・前期・1学修単位()・選択 物質化学工学科(化学応用工学コ-ス) 担当 中村 秀美	
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1(80%), B-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (d-2b)	
〔講義の目的〕 分離に関する単位操作は化学プロセスのみならず、産業界では重要な地位を占めている。本講義では、分離工学の基礎知識を習得し、吸着現象、吸着剤を用いた化学装置の基礎的な設計計算法について学び、理解することを目的とする。			
〔講義の概要〕 <ul style="list-style-type: none"> ・分離工学の重要性を踏まえ、吸着工学を含めた分離工学に関する基礎事項を学ぶ。 ・吸着現象について解説し、種々の吸着剤の特性について講義する。 ・吸着剤を利用した化学装置について、設計計算法などを解説し、基本的な問題の演習を行う。 			
〔履修上の留意点〕 <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容をより理解できるように、適宜、演習を行うので、積極的に取り組んでもらいたい。 ・講義時間はもちろん、自宅での学習が必須である。 			
〔到達目標〕 分離工学、吸着現象、吸着平衡関係に関する基礎事項の説明と関連する設計計算ができる。 吸着層吸着に関する基礎事項の説明とそれに関連する設計計算ができる。 分離精製技術に関する説明とそれに関連する計算ができる。			
〔評価方法〕 定期試験(80%)に課題レポート(20%)を加えて総合評価する。			
〔教科書〕 板書による講義を行う。			
〔補助教材・参考書〕 化学工学 解説と演習 (改訂第3版), 化学工学会監修, 多田 豊編(朝倉書店) 適宜、プリントを配布する。			
〔関連科目〕 物理化学、拡散単位操作、基礎化学工学			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	分離工学の基礎	分離の原理と方法	
第2週	吸着現象および吸着剤	吸着現象の基礎的事項、吸着剤の種類、多孔体	
第3週	吸着平衡	吸着平衡関係、Henry 式、Langmuir 式、Freundlich 式 他	
第4週	回分吸着	回分吸着操作における計算法	
第5週	イオン交換平衡	イオン交換平衡	
第6週	多成分吸着平衡	多成分系の吸着平衡関係	
第7週	吸着速度	物質移動現象	
第8週	固定層吸着 1	固定層における物質移動、破過曲線	
第9週	固定層吸着 2	固定層吸着操作における計算法	
第10週	クロマトグラフィー 1	連続攪拌槽モデル、理論段数、分離効率	
第11週	クロマトグラフィー 2	擬似移動相 等	
第12週	分離精製技術の展開 1	分子認識、生化学物質の分離	
第13週	分離精製技術の展開 2	膜分離の概説、イオン交換膜	
第14週	分離精製技術の展開 3	多孔体の応用、電気泳動	
第15週	まとめ	分離工学（吸着工学）のまとめ	
前期末試験			

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)